者や旬彩館愛好者約1，700人にダイレクトメールを送付し、観光ビデオの放映や当市の特産品の販売を行いましたが、好評により今後も継続して取り組みを行う予定と伺っています。

広域的宣伝の推進については、大洲市と市内企業、団体が共同で行っている大洲市観光総合宣伝事業推進協議会の事業の中で、新聞広告、テレビスポット広告など多様な媒体を利用して広く県内外へPRしており、「うかい」を中心とした観光宣伝についても、宣伝隊により四国内を重点的に行っています。

また伊予市・内子町・西予市でつくる肱川流域観光協議会では、事業の一つとして広域観光マップを作成し、広域的に協力連携を図るとともに、特にインターネットを活用した幅広くきめ細かい情報の発信に努めていきたいと考えています。

「せとうち旬彩館」（東京新橋駅前）

図書館建設について

問 東若宮地区を建設候補地とした理由と施設の概要について伺いたい。

答 建設場所は肱南地区でありましたが、図書館建設検討委員会において全市的な考えに立って審議された結果、「新市の中心エリアで他施設との相乗効果により一層発展が見込める」「交通アクセスの利便性が高い」「敷地面積に余裕がある」ことなど、将来性を総合的に判断した結果、同地区内公有地を最終候補地として検討委員会から報告書が提出されたものです。

なお、施設については、華美な建物や設備にこだわらず、使いやすさやくつろぎの空間などを重視し、滞在型図書館の実現を目指しています。

少子化対策について

問 ふれあい交流事業の内容と成果について伺いたい。

答 この事業は独身者に異性と知り合う機会を提供することにより、若者の定住化や地域の活性化を図ることを目的として、平成18年12月に国立大洲青少年交流の家で開催しました。

参加者は、25歳以上の独身男女を対象とし、広報「大洲」や大洲市ホームページで募集した結果、最終的に男性16名、女性17名の参加があり、立食パーティーやゲーム、バンド演奏などを通して極力参加者がリラックスできる雰囲気づくりを心がけ、会話を通してお互いの理解を深め合う場を多く提供し、和やかな交流ができたものと思っています。

最終的に4組のカップルが成立となり、参加者からも好評を得ましたので、今後も関係機関と連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。

長浜町漁協の朝市。威勢の良いかけ声の中次々と競り落とされる

水産業の振興について

問 水産物のブランド化の取り組みについて伺いたい。

答 従来から長浜沖で水揚げされたフグは「長浜のフグ」として県内外で評価を得ており、アジも全国で有名な「関アジ」三崎の「岬アジ」にも劣らない商品価値のある魚種であることから、長浜の「肱川あらし」に因み、「嵐フグ」「嵐アジ」とネーミングし、県内外にPR活動を展開するなど、ブランド魚として付加価値を高めていきたいと考えています。

山鳥坂ダム建設について

問 土地トラストにおける事業への影響について伺いたい。

答 河辺川流域での土地トラスト運動は主に山鳥坂ダム建設の是非論に関するものと考えていますが、河道整備、山鳥坂ダム建設並びに鹿野川ダム改造の3点セットが肱川流域における最良の治水河川環境対策と考えています。

現在、山鳥坂ダム工事事務所では必要な事業用地について用地測量等が進められており、今後測量の成果等に基づいた補償基準を作成し、用地交渉がまとまった土地から順次買収を行う予定と伺っています。

肱川町山鳥坂の水没地の一部土地が複数の方々の共有地として所有権移転されたことについても、他の土地と同様の対応となると考えており、ライフラインの整備を含めた山鳥坂ダム建設事業の早期完成に向けて、今まで同様、努力していくと伺っています。